

都市再生整備計画 事後評価シート
足寄中央地区

平成28年3月

北海道足寄郡足寄町

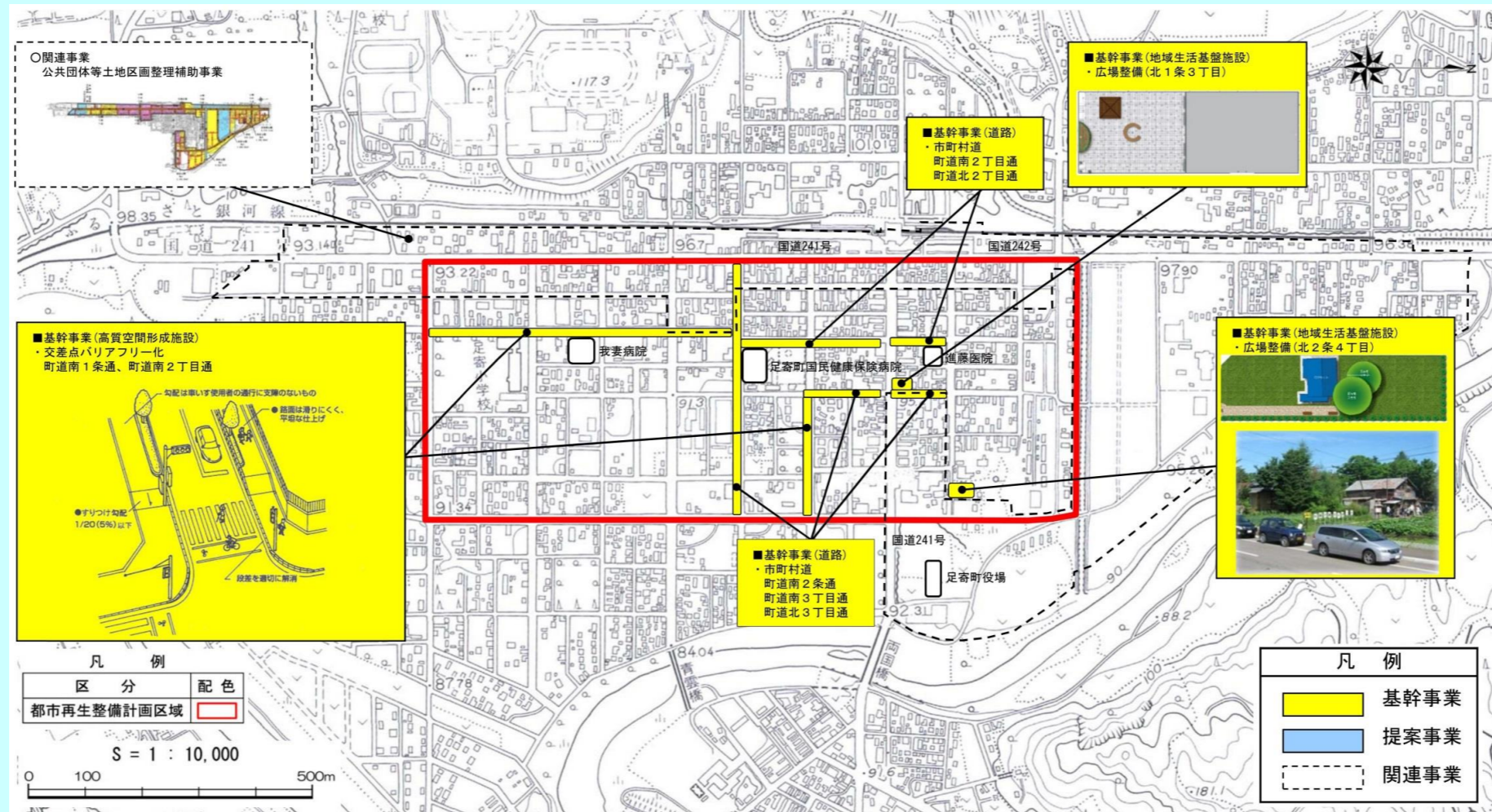
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道		市町村名	足寄郡足寄町		地区名	足寄中央地区			面積	52.6		
交付期間	平成24年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	208	国費率	0.400				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(南2条通、南2丁目通、南3丁目通、北2丁目通、北3丁目通)、地域生活基盤施設(北1条広場、北2条広場)、高質空間形成施設(交差点バリアフリー)									
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	高質空間形成施設(南2条通交差点照明灯)			道路(南2条通)整備に合わせて実施することとしたため			道路(南2条通)事業により整備を実施しているため影響なし			
	新たに追加した事業		基幹事業										
			提案事業										
交付期間の変更		当初	平成24年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	平成24年度～平成27年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	狭隘歩道率	%	55	H23	47	H27		46.0	○	あり なし	基幹事業(道路)により歩道拡幅を行ったことで、狭隘歩道率の低減につながった	
	指標2	ふれあいの場の満足度	%	45.3	H23	60.0	H27		67.6	○	あり なし	基幹事業(地域生活基盤施設)により区内に広場公園を造成したことで、周辺住民だけでなく、来町者や健康増進目的の歩行者の休憩場所として活用されている。また、広場整備により、まちなかの景観の改善にも寄与しており、これらのことから、住民アンケート実施における高い満足度の獲得につながった。	
	指標3									あり なし			
指標4									あり なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
その他の数値指標1	道路整備満足度	%	36.0	H23			82.4			歩道拡幅により区内の狭隘歩道が減少したことや、交差点バリアフリー化を行ったことにより、歩行者だけでなく、車イスやベビーカーなどで通行する方の利便性向上に寄与することが出来たため、住民アンケート実施における高い満足度の獲得につながった。			
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
住民参加プロセス		総合計画をはじめとする町の基本計画を議論する足寄町総合開発審議会及び第6次総合計画を策定するための専門委員会において、市街地の整備をはじめとする足寄町のまちづくりについての議論がなされた			都市再生整備計画に記載し、実施できた								
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			○					
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
持続的なまちづくり体制の構築		足寄町中心市街地活性化推進協議会を中心とした持続的なまちづくり体制の構築が図られている			都市再生整備計画に記載し、実施できた			○					
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

足寄中央地区(北海道足寄郡足寄町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標: 緑輝く大地に人のやさしさがあふれるまちの創出 目標1 快適で安心して安全に暮らせるまちづくりの実現を図る。 目標2 健康で安心して暮らせる支え合いのまちづくりの実現を図る。	狭隘歩道率	単位: %	55 H23	47 H27	46 H27
	ふれあいの場の満足度	単位: %	45 H23	60 H27	67.6 H27
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	① 中心市街地における歩道が狭隘なため、通院・通学、散歩(健康増進)者の通行に支障を来している 狭隘歩道の拡幅や街路灯の設置、交差点バリアフリー化を行ったことにより、歩行者同士のすれ違いや車椅子やベビーカー等での通行が容易になり、通行時の安全を確保することが出来た。 ② 街なかで地域住民や来町者が休憩し、交流する場所が少ない 市街地に広場公園を整備することにより、まちなかの交流の場を確保することが出来た。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	・歩行者の通行に支障を来さないよう道路環境の維持管理を行うとともに、中心市街地の歩行空間に関する整備方針を整理し、回遊性の向上に努める ・中心市街地の文教・福祉施設周辺の安全な歩行空間の確保を推進する ・広場公園の継続的なPRを行い、関係機関と連携したイベントの開催など、まちの活性化の一端を担う施設にしていくとともに、既存施設との距離・役割を考慮したうえで必要な設備の充実を検討する ・中心市街地の空家・空地が景観上・安全上住民の生活を阻害する一面があるため早急な対応を検討する